

福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋 燃料取り出し用カバー等設置工事の進捗状況について

2017年9月28日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

1-1 進捗状況（ドーム屋根設置）

TEPCO

- 燃料取り出し用カバー等設置工事は2017年1月に着手。
 - 走行レール設置作業を6月12日に開始し、7月21日に完了。
 - ドーム屋根設置作業を7月22日に開始。
 - ドーム屋根1の設置が8月29日、ドーム屋根2の設置が9月15日に完了。



ドーム屋根設置状況
(撮影日：2017年9月6日)



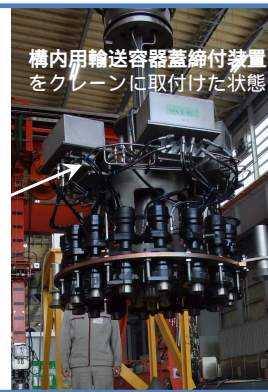
ドーム屋根設置状況
(撮影日：2017年9月26日)

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社



- 燃料取扱機・クレーン設置（ステップ ）に向けて、燃料取扱機・クレーンの動作確認を工場で行っています。

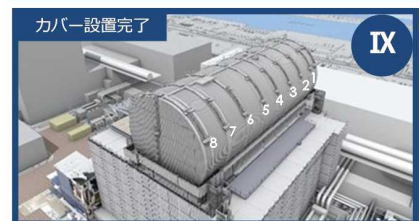
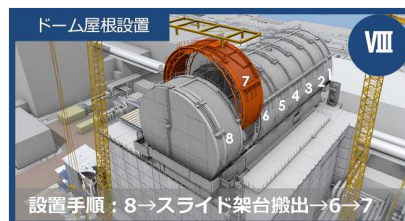
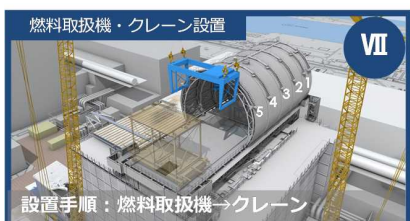
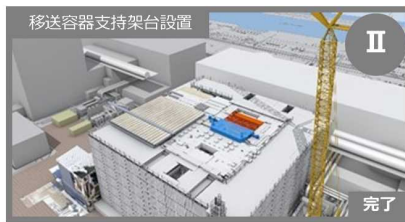
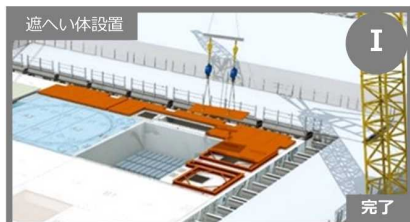


燃料取扱機・クレーンの動作確認状況
 （撮影日：燃料取扱機2017年9月12日 クレーン2017年9月14日）

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

2-1 燃料取り出し用カバー等設置の作業ステップ

- ステップ ~ : 門型架構の設置
- ステップ : 走行レールの設置
- ステップ ~ : ドーム屋根部材および燃料取扱設備等の設置

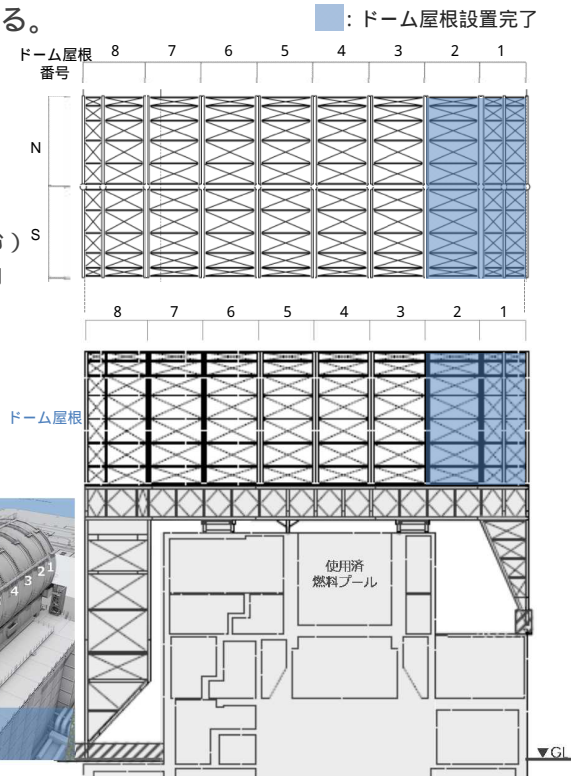


©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

2-2 ドーム屋根設置（ステップ ・ ）の作業概要

■ スライド架台を用いてドーム屋根設置作業を実施する。

- 作業期間：2017年7月22日開始
- 作業人数：（8人/班）×（1班/日）
- 作業時間：約50～140分/班・日（移動時間等含む）
主要工種であるとび工の班体制および作業時間
- 空間線量率：約 0.1～1.6 mSv/h
 - 計画線量：0.42 人Sv
 - 線量実績：0.05 人Sv（9月15日時点）
 - 個人最大線量実績：0.54 mSv/日（8月26日）



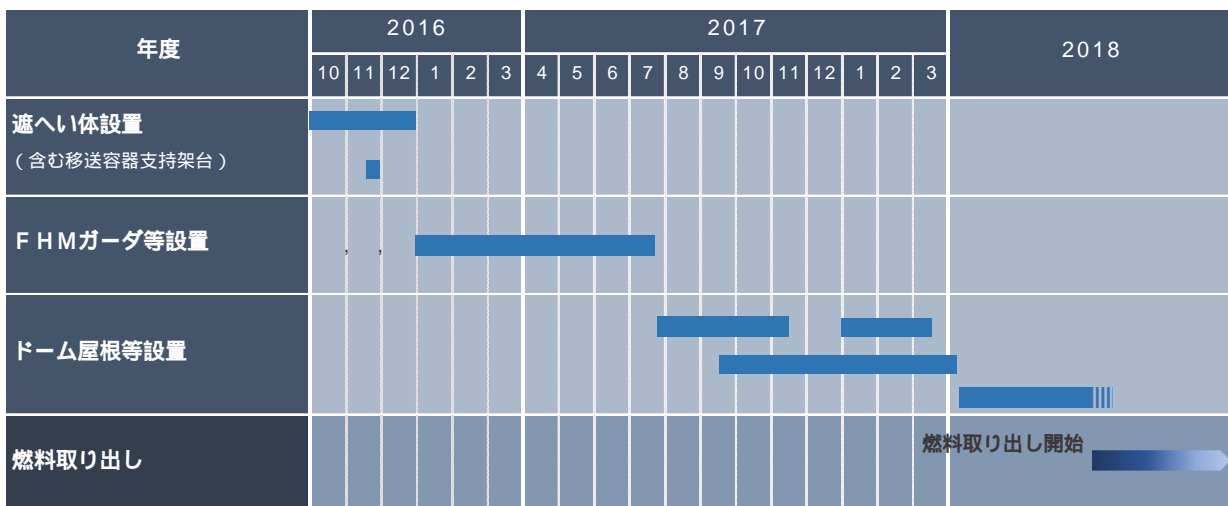
ドーム屋根設置作業イメージ
 （左：ドーム屋根1 中央：ドーム屋根5 右：ドーム屋根7）

ドーム屋根ユニット設置範囲
 （上段：屋根伏図 下段：南側立面図）

3 スケジュール

- オペフロ上への燃料取扱機・クレーン関連設備の設置を9月11日から開始。11～12月にかけて燃料取扱機及びクレーンをガーダ上へ吊り込み、その後、設置作業を実施する。
- ドーム屋根3の設置を10月上旬に開始予定。
- 燃料取り出し開始時期は、2018年度中頃の見通し。
- 引き続き、施工計画検討や他作業とのヤード調整等を進め、工程精査を進めていく。

～ : P3の作業ステップ番号を示す

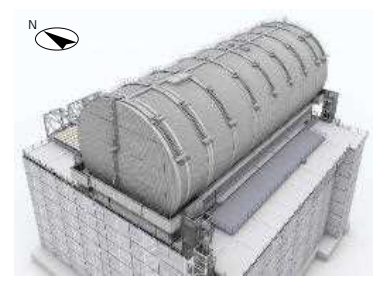
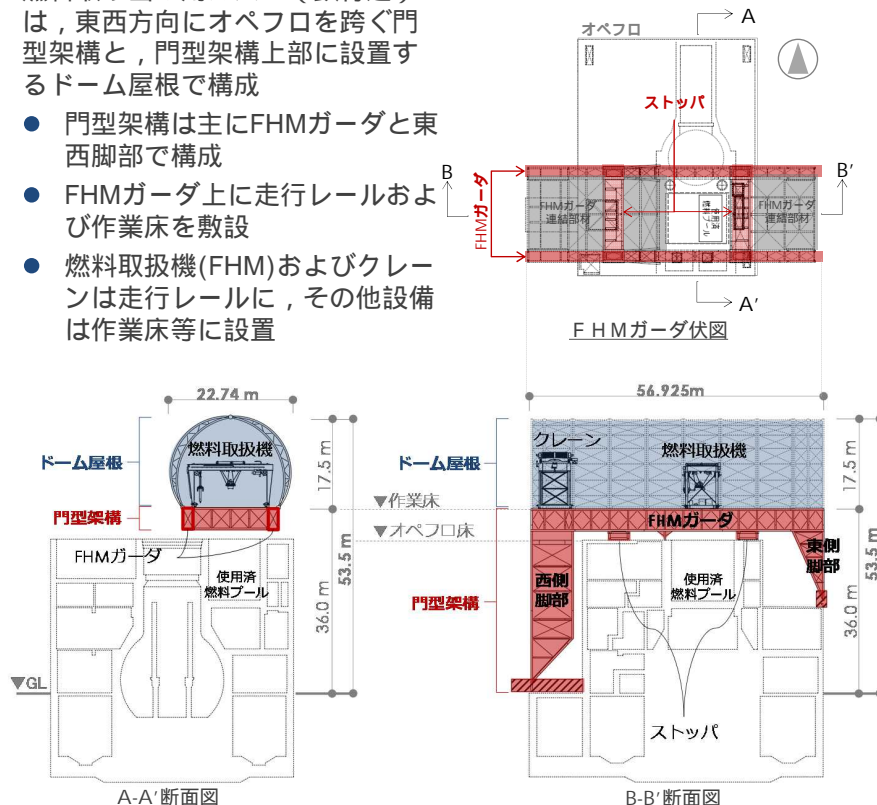


他作業との干渉，工事進捗等により工程が変更する可能性がある。

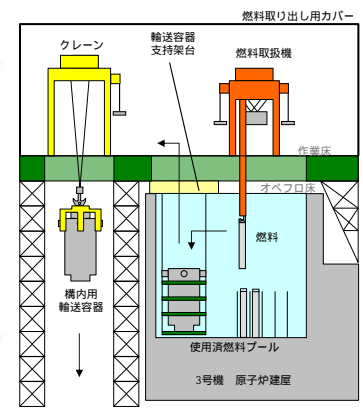
参 考 資 料

【参考】燃料取り出し用カバーの概要

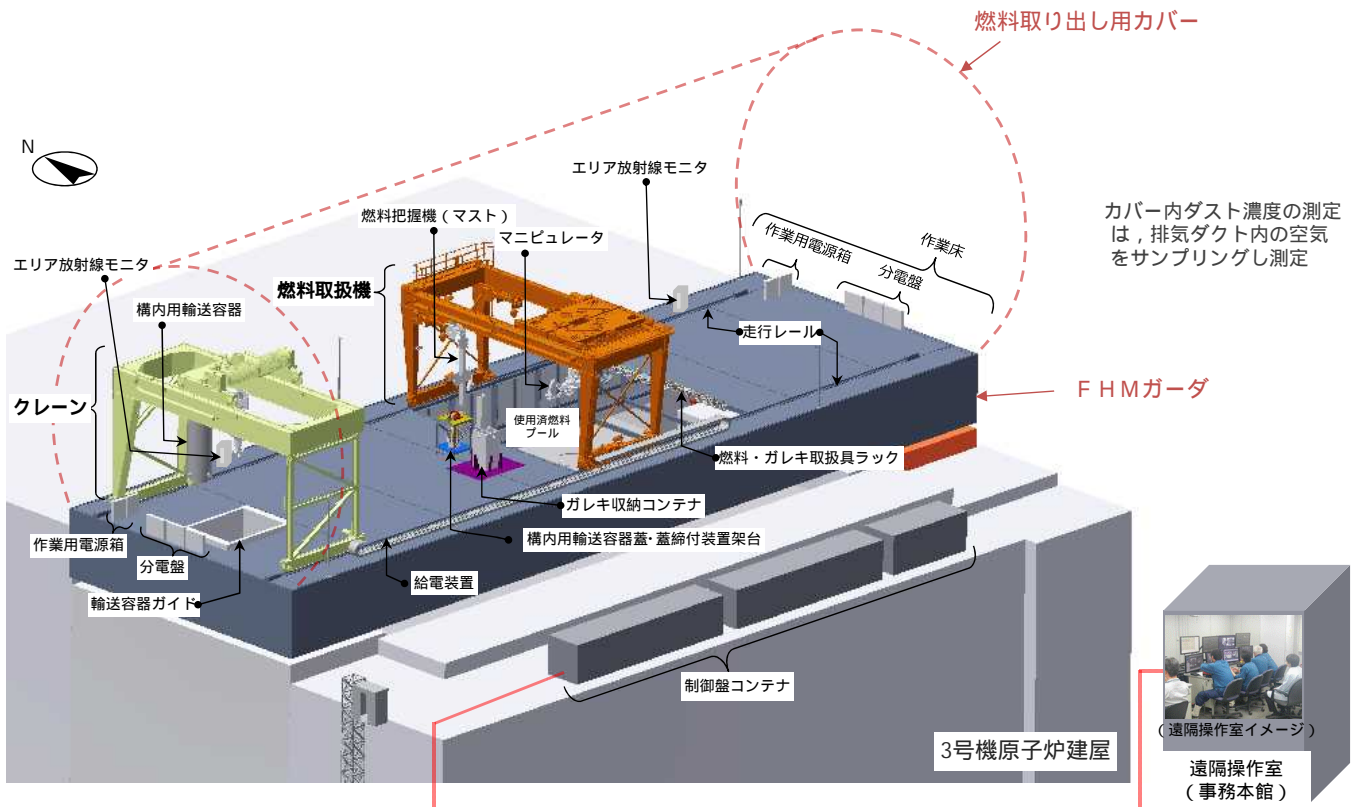
- 燃料取り出し用カバー（鉄骨造）は、東西方向にオペフロを跨ぐ門型架構と、門型架構上部に設置するドーム屋根で構成
 - 門型架構は主にFHMガーダと東西脚部で構成
 - FHMガーダ上に走行レールおよび作業床を敷設
 - 燃料取扱機(FHM)およびクレーンは走行レールに、その他設備は作業床等に設置



3号機燃料取り出し用カバーイメージ



3号機燃料取り出し作業イメージ



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

【参考】ドーム屋根設置（ステップ ， ）の線量低減対策

福島第一原子力発電所構外での対策

- 福島第一原子力発電所構内にて、作業が円滑に行え、作業のやり直しなど計画外の被ばくが極力生じないように、これまで、小名浜港で大型ユニットの設置訓練を実施してきた。
 - ドーム屋根を吊り上げる吊冶具の調整長さは小名浜で事前に確認。
 - 構外でドーム屋根部材を大型ユニットに組立て輸送し、オペフロ上の作業量を低減。

オペフロ作業中の対策

- オペフロ上の作業では、タングステンベストを着用。
- 仮設遮へい体を一時待避所として作業エリア付近に設置し、できるだけ低線量エリアで待機。



小名浜港でのステップ ・ 訓練状況写真

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社